

第40回 法人会全国大会(鹿児島大会)が開催されました。

日時：令和6年10月3日(木)

場所：城山ホテル鹿児島

報告：常任理事 藤川隆幸

小雨の早朝6時JRで阿波池田駅を出発して、お昼前には鹿児島に到着。なんと早い！びっくりしながら昼食を摂り会場へ。曇り空ではありましたが、傘をさすこともなく二日間過ごせました。

≪第1部 大会式典≫

式典では、鹿児島法人会連合会 今別府会長の開会宣言に始まり、小林全法連会長のご挨拶、来賓祝辞と進み、会員増強・福利厚生制度推進に功労のあった法人会の表彰。そして、「令和7年度税制改正に関する提言」が飯野税制委員長より読み上げられました。つづいて、令和5年度全国青年の集いにおいて最優秀賞を獲得した佐世保法人会の租税教育プレゼン、北那覇法人会の健康経営の発表があり、青年部会の活躍に力をもらった感じです。

そのあとは、大会宣言の発表と次回開催県連 高知県連(令和7年10月16日)によるPRと閉会の辞。来年はお隣の県連開催ですので、大勢の会員参加で盛り上げていきたいと思いました。

≪第2部 記念講演≫

演題「新型コロナ禍で大打撃を受けた航空業界 危機下の経営戦略を語る」お話は、ANA ホールディングス(株)取締役会長 片野坂真哉さま。1955年生まれの片野坂会長は、大学卒業と同時に全日空入社、2009年に取締役に就任して2015年ANAホールディングス(株)代表取締役社長に就任。

コロナ前は2兆円あった売上げがストップ！1日19億円が消えていくキャッシュアウト。それでも4.4万人の雇用を守るため、外部出向等あらゆる手当を打って再生していく。2021年度表明したメッセージは「夜明けは近い！」2022年に社長交代してポストコロナに取り組む。「危機は必ず来る」ことを忘れず、「ANAは安全が命」を心に刻んで邁進中です。

大会宣言

我が国経済は、株式市場における最高値の一時更新や高水準の賃金上昇率を記録したほか、長年にわたるデフレからの完全脱却が目前に迫るなど、大きな転換期を迎えている。

一方、中小企業では少子高齢化と人口減少に伴う人手不足が深刻化しており、こうした構造的課題の解決に向けた税・財政政策など、民間の活力を最大限引き出すための新たな戦略が求められる。

しかし、主要先進国で最も悪化していた我が国の財政状況は、コロナ禍を経て債務残高がさらに増加した。財政健全化は、安定的な経済成長と日本経済の持続可能性を高めるための国家的課題と改めて認識すべきである。

さらに本年、日本銀行は物価上昇に対応して異次元の金融緩和を終了し利上げに踏み切った。「金利のある世界」への回帰を踏まえ、安定的な税・財政運営のためにも新たな財政再建目標の策定が急務である。

地域経済や雇用の担い手である中小企業は、地域活性化の中心的な役割を担っている。地方創生を支える観点からも事業承継を含め、きめ細かな税財政上の支援が必要であり、法人会は、「中小企業の活性化に資する税制」「事業承継税制の抜本的改革」等を中心とする「税制改正に関する提言」の実現を強く求めるものである。

創設以来、納税意識の向上に努めてきた法人会は、全国の会員企業の総意として、以上宣言する。